

都市基盤整備特別委員会 送付29-11

(仮称) 区立麴町仮住宅建設(平河町二丁目)の再考を求める陳情 その2

受付年月日 平成29年9月6日

陳 情 者

## 陳情書

昨年11月28日、「(仮称)区立麴町仮住宅建設の再考を求める陳情書」を千代田区議会に提出致しました。「【趣旨】2)近隣住民や、区営住宅当事者の声を聴かず、多額な税金を投入する計画をこのまま進めないでください。」に対して議会から「条例必置の解体工事の説明会や紛争予防条例の説明会等最低限の説明会はあるが、地域課題や住宅のあり方も含めた、意見聴取を再度行うこと。」とのご回答を頂きました。本年、2月16日に麴町中学校で「地域のご意見を聞く会」は開かれましたが、現計画の正当性の説明に終始していました。地元参加者から賛成意見は一つもありませんでした。区は地域課題の把握をする、意見聴取をするという作業になぜ着手されないのでしょうか。

この会ではまちづくり推進部長から「何らかの進展、変更があった場合はアナウンスする。」と伺いましたが今迄、地元の意見聴取も受けていません。ところが先月25日の都市基盤整備委員会で「(仮称)区立麴町仮住宅のコンセプト(用途)と将来活用モデル(イメージ案)」が配布されたと伺い大変驚いております。地域住民の意向聴取はされないままに進められてしまうのでしょうか。旧麴町保健所は選挙時に永田町、平河町、隼町、紀尾井町(4地域)の住民が投票していた地域の拠点でした。これまでの経緯からすると4地域から意見聴取もしないでイメージ案が出来上がっているのはとても納得が出来ません。

千代田区HP「町丁別世帯数および人口」では旧麴町保健所が閉所した平成22年2月は1,423世帯、人口は2,248人ですが本年8月現在では2,009世帯、人口は、3,327人と約1.5倍の増加です。更に麴町大通りから南側である永田町までは公共施設は麴町中学校のみで千代田区内で公共施設がないのはこの4地域のみです。それだけに旧麴町保健所跡地の地域再生につながる活用に、私たちは大きな期待と関心を持っています。

つきましては、旧麴町保健所の活用について、最優先で地元住民の意向を把握する作業に取り組んでいただきますよう陳情いたします。

平成29年9月6日

千代田区議会議長 松本 佳子 殿